

2 事後事業評価に係る政策評価の結果の政策への反映状況

○評価書はこちら

- 1 災害時に有効な衛星通信ネットワークの研究開発
- 2 大規模災害時に被災地の通信能力を緊急増強する技術の研究開発
(大規模通信混雑時における通信処理機能のネットワーク化に関する研究開発)
- 3 ホワイトスペースにおける新たなブロードバンドアクセスの実現に向けた周波数高度利用技術の研究開発
- 4 地域イントラネット基盤施設整備事業（東京都）

No.	政策の名称	政策評価の結果の政策への反映状況
1	災害時に有効な衛星通信ネットワークの研究開発	<p>評価結果を踏まえて、研究成果の実用化を加速するため、衛星通信事業者および小型地球局メーカーと共に製品化に向けた課題を検討（製品レベルの耐久性等の向上、衛星通信事業者のシステムに組み込むためのカスタマイズ等）。加えて、一般財団法人自治体衛星通信機構や衛星通信事業者等と連携した実用化計画を立案すると共に、地方自治体等のユーザへの周知広報活動に努める。本研究成果の実用化により、衛星通信システムの利便性を向上し、我が国の情報通信システムの耐災害性の向上を目指す。</p> <p>なお、本政策は当初の目的を達成して平成 25 年度に終了している。</p>
2	大規模災害時に被災地の通信能力を緊急増強する技術の研究開発（大規模通信混雑時における通信処理機能のネットワーク化に関する研究開発）	<p>評価結果を踏まえて、本研究開発で確立された要素技術、周辺技術を商用製品に搭載される取り組みや、小規模事業者向けのソリューション開発を段階的に実施し、実用化に向けた取組の継続および標準化団体に対する提案活動を継続することで本研究成果の社会展開を図っていく。</p> <p>なお、本政策は当初の目的を達成して平成 25 年度に終了している。</p>
3	ホワイトスペースにおける新たなブロードバンドアクセスの実現に向けた周波数高度利用技術の研究開発	<p>評価結果を踏まえて、実用化等による成果展開を目指し、実用化の主体となる通信事業者、メーカーと密に連絡調整を行いつつ、実用化に向けた技術課題の検討、国際標準化の推進等に努めていく。また、本技術の実用化により、ホワイトスペースのより一層の利活用を進め、ひいては我が国の周波数の利用効率をより一層向上する。</p> <p>なお、本政策は当初の目的を達成して平成 25 年度に終了している。</p>
4	地域イントラネット基盤施設整備事業（東京都）	<p>評価結果を踏まえて、引き続き、地域住民が整備したブロードバンド基盤を利用することで、地域住民の利便の向上及び地域の活性化が図られることが期待される。</p> <p>なお、本政策は当初の目的を達成して平成 22 年度に終了している。</p>